

第125回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金
売	買	前	払	金	仮	払	金	貸	付	貸	付	金
支	払	買	掛	金	当	座	借	越	貸	倒	引	当
前	受	仮	受	金	所	得	税	預	り	借	入	金
資	本	売		上	受	取	手	数	料	有	価	証
受	取	仕		入	給			料		租	税	公
支	払	有	価	証	券	売	却	損		損		益

- 仕入先鳩山商店から商品 ¥ 600,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 250,000 については小沢商店振出し、谷垣商店受取りの約束手形を裏書譲渡し、¥ 200,000 は鳩山商店を名宛人とする約束手形を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 営業用店舗の固定資産税 ¥ 180,000 と事業主の所得税 ¥ 240,000 を現金で納付した。
- 出張中の従業員から当座預金口座に振り込まれ、仮受金として処理していた ¥ 180,000 は、得意先木村商店から注文を受けたさいに受領した手付金 ¥ 50,000 と、得意先篠原商店から回収した売掛代金 ¥ 130,000 であることが判明した。
- 損益勘定の記録によると当期の収益総額は ¥ 3,500,000 で、費用総額は ¥ 4,200,000 であった。この差額を資本金勘定へ振り替える。
- かねて売上代金の一部として受け取っていた得意先振出しの約束手形 ¥ 350,000 を取引銀行で割り引き、割引料 ¥ 10,000 を差し引かれた手取金をただちに当座預金口座に預け入れた。なお、当座借越勘定は ¥ 100,000 の貸方残高となっている。